

# お仕事ナビ<sup>o</sup> 23

## 伝統工芸に関わる仕事

人形師

江戸切子職人

箱根寄木細工  
職人

陶芸家





File:04 陶芸家

# 安部秀樹さん

52

他にもいろいろなお仕事！

51 50 48 46 42 41 40

- 陶芸家ってどんな仕事？
- 安部さんの一日
- 陶芸家の仕事
- 安部さんに聞いてみよう！ Q & A
- 陶芸家の仕事場
- 安部さんこだわりの7つ道具
- 陶芸家ってどうしたらなれるの？

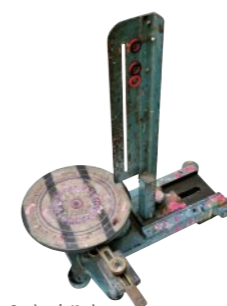


File:03 箱根寄木細工職人

# 本間博文さん

39 38 36 34 30 29 28

- 箱根寄木細工職人ってどんな仕事？
- 本間さんの一日
- 箱根寄木細工職人の仕事
- 本間さんに聞いてみよう！ Q & A
- 箱根寄木細工職人の仕事場
- 本間さんこだわりの7つ道具
- 箱根寄木細工職人ってどうしたらなれるの？



File:02 江戸切子職人

# 小林昂平さん

27 26 24 22 18 17 16

- 江戸切子職人ってどんな仕事？
- 小林さんの一日
- 江戸切子職人の仕事
- 小林さんに聞いてみよう！ Q & A
- 江戸切子職人の仕事場
- 小林さんこだわりの7つ道具
- 江戸切子職人ってどうしたらなれるの？



File:01 人形師

# 原裕子さん

15 14 12 10 6 5 4

- 人形師ってどんな仕事？
- 原さんの一日
- 人形師の仕事
- 原さんに聞いてみよう！ Q & A
- 人形師の仕事場
- 原さんこだわりの7つ道具
- 人形師ってどうしたらなれるの？



# 原さんの一日

09:00 仕事開始、スケッチ



10:00 原型作り



11:30 お店に出勤



12:00 ランチミーティング



13:00 布地チェック

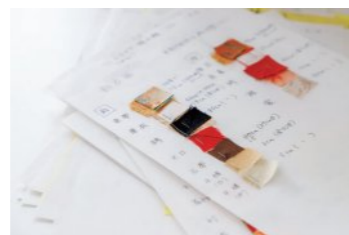


14:00 サンプルチェック



15:00 休憩

15:30 デザインシート作成



18:00 退勤



File:01

伝統工芸に関わる仕事

## 人形師って どんな仕事？ 五色原裕子さん

多くの人が関わる  
人形作り

子どもの幸せと健やかな成長を願って飾られる節句人形。ひな人形・五月人形などさまざまな種類がありますが、その多くが昔から日本で作られてきた伝統的な工芸品です。これらの人形は現在でも、一体一体を職人が手作りで仕上げています。

人形作りでは一人の職人がすべての工程を手がけるわけではありません。顔を描く面相師、頭に髪を植え込む髪付け師をはじめ、人形のパーツごとに専門の職人がいて、それぞれの手を経てはじめて一体の人形が完成するのです。

伝統を受け継ぎ、  
進歩させる

原さんは100年以上の歴史を持つ東京都の人形店「五色」の3代目。五色の人形は桐の木の粉を固めて作ったポ



デイに溝を彫り、そこに衣装の布を入れ込む「木目込み」という技術で作られる、木目込み人形です。細かい部分まで作り込まれた人形は、華やかながらかわいらしい雰囲気を持つています。原さんは人形の顔や体の形、衣装の重ね方といった全体像を考え、原型を作り上げる人形師です。五色で販売する数百種類の人形すべてを作り出しています。



### 道具箱

思い出の詰まった道具箱

「五色」初代にあたる、原さんのおじいさんから代々受け継がれている道具箱。人形の顔を描く墨、ボディを削る彫刻刀や小刀など、昔ながらの仕事道具がしまわれています。

### 布ケース

やわらかさを表現する布

カラーケースにあるのは織物ではなく、人形の襟や帯の上に使う濃い色合いの布です。織物、布はデザインシートの指定と一緒に職人さんに渡し、人形に木目込んでもらいます。

### 工房

### デザイン帳

人形たちの設計図

デザインシートをまとめたファイルです。シートごとに人形に使う布と重ね方が指定されていて、見本用に小さく切った布も貼りつけてあります。

### サンプル

職人さんの作業用見本

木目込み人形のサンプルです。商品の人形が完成するまでには多くの職人さんの手を経ていますが、作業の参考にするため、完成品のサンプルと一緒に渡します。

### 織物棚

数百種類の織物をストック

衣装用の織物はいつもこの棚に数百種類を保管しています。京都や広島の織物屋さんで注文していて、原さんがデザインした柄をお願いして織ってもらうこともあります。

### 道具類

どこでも作業できる環境作り

ここですべての作業ができるよう、ペンや消しゴムなどの文房具、小刀やヘラなどの作業道具、原型作り用の粘土など、必要な道具類は机の横にすべて準備しています。

### 色見本帳

日本伝統の色をチェック!

日本の伝統色をまとめた色見本帳です。萌黄、銀鼠、猩々緋など、日本独特の色が指定された見本です。特に織物のデザインに必要で、織元とのやりとりには欠かせないそうです。

### タブレット&ノートパソコン

人形を3Dデータ化

メールのやりとりや文章書きに活用。原さんは人形作りにもITを取り入れようと試みていて、専用ソフトですべての人形の頭を3Dデータ化する予定も立てています。

### 資料

細部までしっかりデザイン

デザイン作りでは細かい部分にもこだわるために資料を参照。和服の着付け方、日本の礼服のデザイン集、江戸時代の図案集など、さまざまな種類の資料がそろっています。

### アトリエ

# 人形師の仕事場

原さんの仕事場は住居に隣接したアトリエと会社の工房。どこでも十分な仕事ができるよう、仕事道具は両方にそろえています。



# 人形師って どうしたらなれるの？

中学 3年

15歳

高校 3年

18歳

大学 4年

22歳

短大・専門学校 2年

20歳

日本人形の制作を教える学校は少ないですが、大学の美術系学部・美術系の専門学校でデザインや立体の造形について勉強すると役に立ちます。人形教室などで実際の制作を体験してもよいでしょう。

## 人形制作会社に入社

人形の制作会社に入り、仕事として人形作りに関わります。人形の種類や地域<sup>\*1</sup>によって制作方法はさまざま。将来どのような人形師になりたいかを考えながら経験を積む必要があります。

## 人形師

充分な知識と技術を身につければ、そのまま会社で働いたり、独立したりして人形作りを続けることが可能。また、各工程を担当する職人<sup>\*2</sup>として働く道もあります。経験を積むと伝統的工芸品産業振興協会<sup>\*3</sup>による伝統工芸士の認定を受けることもできます。

### \*1 種類や地域

木目込み人形以外にも、服のように衣装を重ねる衣装人形、焼いた粘土に着色する博多人形など、日本の人形には多くの種類があります。木目込み人形は東京周辺で作られているなど、地域による違いもあります。

### \*2 職人

人形の頭や手足を作る頭師、頭に髪の毛を植える髪付け師、顔と前髪を描く面相師、衣装をボディに木目込む木目込み師などの職人が、それぞれの作業を専門に担当。一人前になるには長年の修行が必要です。

### \*3 伝統的工芸品産業振興協会

伝統的工芸品の産業振興を目的とする一般財団法人。技術継承や普及推進などの事業を行っており、その一環として経済産業大臣が指定した伝統的工芸品の作り手に伝統工芸士の認定を与えています。

## お給料っていくら？

平均給与月額

41万4,000円

推定平均年収

496万5,000円

お給料は働き方によって大きく変わります。独立してお店を運営する場合、ビジネス面の努力も必要です。多くの人に求められる人形を作れるようになれば注文が増え、収入もアップしていきます。

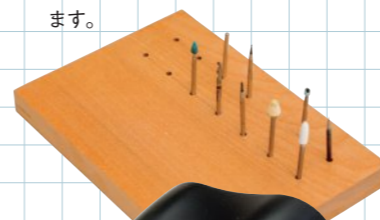


編集部調べ。



### ▼ルーター

木材加工用の電動工具。粘土の原型は手で作業しますが、木材の原型はこれで形を整えます。回転する先端のアタッチメントを取り替えると、削ったり表面を磨いたりさまざまな形に加工できます。



### ▲はさみ、小型のこぎり

切れ味抜群の刃物類。布の形を整えるはさみは先代・先々代も使っていた品。研ぎながらいいに使っています。のこぎりは小さな木を切りやすい小型サイズで、原型の加工などに使っています。



### ▼彫刻刀

ネーム入りの彫刻刀。大きい彫刻刀は木を削るのに使います。先代人形師のお母さんに買ってもらったもので、原さんの名前が入った思い出の品です。小さい彫刻刀は幅が1.5mm、人形の頭に髪の毛を植える溝を彫ることができます。



▶ペン  
多彩な色の変化を  
スケッチする

デザイン作りではこのペンでスケッチ。人形の衣装は細かい色の違いまで考えるので、色数をたくさんそろえています。多くの色を使い分け、デザインをしっかりと作り上げていきます。



## 原さんこだわりの 7つ道具

人形はいずれお客さんの思いを乗せる大切なもの。細かい部分までこだわった人形を作るため、さまざまな道具を使いこなします。

### ◀ヘラ

どんな線も思いのまま！粘土での原型作りに使っています。木製の大きなヘラは大きくまっすぐな形を整えます。金属製のヘラは曲線に沿った細かい作業ができ、人形のまぶたやくちびるの凹凸をつけるのに役立ちます。

### ▼面相筆

髪の毛と顔を描く極細の筆。人形の髪の毛は生え際部分を筆、それ以外の部分を絹糸で表現します。前髪は長い方の面相筆で細かく描き込みます。短い筆は人形の目を描くのに使っています。



### ▶拡大レンズ

1ミリ以下の単位で作業。人形の頭は何分の1mm単位という、とても繊細な作業が要求されます。そうした細かい作業に欠かせない拡大レンズで、メガネの中央につけてしっかり見ながら削っていきます。

